

しょう しゃ じ き そ ちようさひよう かぞくよう
障がい者(児)基礎調査票 (家族用)

(お答えいただく前に)

○ この調査票は、障がいのある方のご家族などの親族の方がお答えくださ
い。

○ この調査はお名前を書く必要はありません。個人の秘密は守られますの
でご安心してお答えください。

○ お答えになりたくないことは、無理にお答えにならなくても結構です。

○ この調査は令和4年12月1日現在の状況でお答えください。

わからないことがありましたら、こちらまでお問い合わせください

おおさか し ふく し きょく しょう しゃ し さく ぶ しょう ふく し か たんとう むらた ほうじょう
大阪市福祉局 障がい者施策部 障がい福祉課 (担当：村田・北條)

でんわ
電話 06-6208-8071 ファックス 06-6202-6962

おおさか し けんこうきょく けんこうすいしん ぶ けんこう こころの健康センター (担当：吉武)

でんわ
電話 06-6922-8520 ファックス 06-6922-8526

この調査票で「あなた」とは障がいのある方のご家族の方のことです

1 あなたのことにしておたずねします。

問1 あなたの満年齢はおいくつですか。次の にお書きください。

さい
歳

問2 障がいのある方との続柄についておたずねします。

あなたは、障がいのある方からみて、次のうちどなたにあたりますか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 親
2. 子
3. きょうだい
4. 配偶者（夫または妻）
5. その他の親族など

問3 あなたの健康状態についておたずねします。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 健康（特に体調が優れないところはない）
2. 入院や通院はしていないが、体調が優れない
3. 通院中
4. 入院中

とい 問 4 あなたの^{しゅうにゆうじょうきょう}収 入 状 況 についておたずねします。

あなたが得^えている主^{おも}な収 入^{しゅうにゆう}は、次^{つぎ}のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに^{ばんごう}○^{まる}をつけてください。

1. ^{きゅうりょう}給 料・^{ほうしゅう}報 酬（^{いっばんきぎょう}一般企業など）
2. ^{じぎょうしゅうにゆう}事業 収 入（^{じえいぎょう}自営業など）
3. パート・アルバイト
4. ^{ねんきん}年金・^{てあて}手当
5. ^{せいかつ ほ ご ひ}生活保護費
6. ^{ざいさんしゅうにゆう}財産 収 入（^{やちん り し しゅうにゆう}家賃や利子 収 入 など）
7. ^{しんぞく ふよう えんじょ}親族の扶養または援助
8. その他（）

とい 問 5 障 がいのある方^{しょう かた げんざい}は現在、どちらにお住^すまいですか。

あてはまる番号に 1 つだけ^{ばんごう}○^{まる}をつけてください。

ただし、障 がいのある方^{しょう かた げんざい}が現在施設^{しせつ}に入 所^{にゅうしょ}されている場合^{ばあい}は、

入 所^{にゅうしょ}する前^{まえ}に住^すまれていた区^くを選^{えら}んでください。

- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. ^{あさひく} 旭区 | 2. ^{あ べ の く} 阿 倍 野 区 | 3. ^{いくのく} 生 野 区 | 4. ^{きたく} 北 区 |
| 5. ^{このはなく} 此花区 | 6. ^{じょうとうく} 城 東 区 | 7. ^{すみのえく} 住 之 江 区 | 8. ^{すみよしぐ} 住 吉 区 |
| 9. ^{たいしょうく} 大正区 | 10. ^{ちゅうおうく} 中 央 区 | 11. ^{つるみく} 鶴 見 区 | 12. ^{てんのうじく} 天 王 寺 区 |
| 13. ^{な に わ く} 浪 速 区 | 14. ^{にしく} 西 区 | 15. ^{にしなりく} 西 成 区 | 16. ^{にしよどがわく} 西 淀 川 区 |
| 17. ^{ひがしすみよしぐ} 東 住 吉 区 | 18. ^{ひがしなりく} 東 成 区 | 19. ^{ひがしよどがわく} 東 淀 川 区 | 20. ^{ひらのく} 平 野 区 |
| 21. ^{ふくしまく} 福 島 区 | 22. ^{みなとく} 港 区 | 23. ^{みやこしまく} 都 島 区 | 24. ^{よどがわく} 淀 川 区 |

問6 障がいのある方の満年齢はおいくつですか。次の にお書きください。

さい
歳

問7 障がいのある方の障がいは、次のうちどれにあてはまりますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 身体障がい
2. 知的障がい
3. 精神障がい
4. 発達障がい ※1
5. 高次脳機能障がい ※2
6. 難病 ※3

- ※1 発達障がい・・・自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい、その他のこれに類する脳機能障がいであって、その症状が通常低年齢において発現するものを言います。
- ※2 高次脳機能障がい・・・頭部の病気や事故により脳に損傷を受け、その後遺症として、記憶・意思・感情などの高度な脳の働きに障がいが見れる状態を言います。
- ※3 難病・・・治療方法が確立していない疾病その他の特殊の疾病で厚生労働省が定める障害者総合支援法の366疾病を言います。

問 8 障がいのある方の障がい者手帳の種類・等級は、次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 身体障がい者手帳 1 級
2. 身体障がい者手帳 2 級
3. 身体障がい者手帳 3 級
4. 身体障がい者手帳 4 級
5. 身体障がい者手帳 5 級
6. 身体障がい者手帳 6 級
7. 療育手帳 A
8. 療育手帳 B 1
9. 療育手帳 B 2
10. 精神障がい者保健福祉手帳 1 級
11. 精神障がい者保健福祉手帳 2 級
12. 精神障がい者保健福祉手帳 3 級
13. 持っていない

問9 問8で「1. 身体障がい者手帳1級」から「6. 身体障がい者手帳6級」に

○をつけた方におたずねします。

障がいのある方の障がいの種類（部位）は次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 視覚障がい（目が不自由）
2. 聴覚障がい・平衡機能障がい（耳が不自由）
3. 音声・言語・そしゃく機能障がい（声が出ない、ものがかめない）
4. 肢体不自由（手や足が不自由）
5. 内部障がい（心臓）
6. 内部障がい（腎臓）
7. 内部障がい（呼吸器）
8. 内部障がい（ぼうこう又は直腸）
9. 内部障がい（小腸）
10. 内部障がい（免疫機能障がい）
11. 内部障がい（肝臓）

問10 障がいのある方は自立支援医療（精神通院）を受給されていますか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 受給している | 2. 受給していない |
|-----------|------------|

2 介助等に関わっておたずねします。

問11 あなたが、障がいのある方に介助していることは何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 外出する時の介助
2. 入浴する時の介助
3. 食事の介助
4. 排泄の介助
5. 着替えの介助
6. 調理・掃除・洗濯などの支援
7. 通院先での介助
8. 入院先での介助
9. 医療的ケア
10. コミュニケーション支援
11. 見守り、声かけ
12. その他（ ）
13. 介助をしていない、介助の必要がない

問12 家族や親族のなかで18歳未満の方が、障がいのある方に介助していますか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. はい 2. いいえ ⇒ 問19に進んでください

問13 問12で「1. はい」に○をつけた方におたずねします。

18歳未満の方が、障がいのある方に介助していることは何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 見守り、声かけ
2. 食事の介助
3. 調理・掃除・洗濯などの支援
4. コミュニケーション支援
5. 外出する時の介助
6. 入浴する時の介助
7. 排泄の介助
8. 着替えの介助
9. 通院先での介助
10. 入院先での介助
11. 医療的ケア
12. その他（ ）

問14 問12で「1. はい」に○をつけた方におたずねします。

介助されている障がいのある方は、18歳未満の方からみて、家族や親族のなかでどなたにあたりますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他（ ）

問15 問12で「1. はい」に○をつけた方におたずねします。

18歳未満の方、障がいのある方への介助は、だれとしていますか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. ひとりでしている

2. 家族・親族としている

問16 問12で「1. はい」に○をつけた方におたずねします。

障がいのある方に介助している18歳未満の方は、学校などに通学していますか。

あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。

1. 通学している

2. 通学していない

問17 問12で「1. はい」に○をつけた方におたずねします。

18歳未満の方が、障がいのある方を介助する頻度はどの程度ですか。

あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。

1. ほぼ毎日

2. 週3～5日

3. 週1～2日

4. 1か月に数日

5. その他（ ）

問18 問12で「1. はい」に○をつけた方におたずねします。

18歳未満の方が、障がいのある方の介助に費やす時間は一日あたりどの程度ですか。

あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。

1. 1時間未満
2. 1時間以上～3時間未満
3. 3時間以上～6時間未満
4. 6時間以上～8時間未満
5. 8時間以上

問19 あなたが、障がいのある方を介助できない時など、緊急時はどのようにしていますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 同居している家族や親族に介助をたのむ
2. 同居していない家族や親族に介助をたのむ
3. 短期入所（ショートステイ）を利用する
4. ホームヘルプ（居宅介護など）を利用する
5. 通所している事業所などの職員にたのむ
6. 障がい者基幹相談支援センター（※）・相談支援事業所にたのむ
7. 友人・知人・近所の人に介助をたのむ
8. ボランティアに介助をたのむ
9. その他（ ）
10. たのめる相手がない

※ 障がい者基幹相談支援センター…障がいがある方やその家族等からの相談に応じて、福祉

サービスの利用援助、社会資源の活用、ピアカウンセリング、権利擁護のために必要な援助、

専門機関などの情報提供を行うことにより、地域における生活を支援する機関です。

問20 あなたが新型コロナウイルス感染症の陽性者または濃厚接触者になり、障がいのある方への支援が継続できなくなった場合、あなたに代わって支援を継続する体制は確保できていますか。

あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 確保できている（障がい福祉サービス事業所）
2. 確保できている（家族）
3. 確保できている（その他）
4. 確保できていない
5. 支援の必要がない

問21 あなたは、障がいのある方を介助するうえで困っていることや不安なことはありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 通所先などへの送り迎えがたいへん
2. 経済的なこと
3. 他の用事をする時間がない
4. 相談をする相手がいない、または相談しにくい
5. 同居している他の高齢者・障がいのある方・乳幼児などの世話
6. 病気・高齢などで健康・体力が不安
7. ストレスなどの精神的な負担が大きく、介助ができない
8. いつまで介助できるかが不安
9. 障がいや病気に対する情報の不足
10. どのようなサービスを利用できるかわからない
11. 介助（医療的ケアなど）を代わってもらえる人がいない
12. 深夜帯の介助（医療的ケアなど）により、睡眠が十分にとれない
13. 新型コロナウイルス感染症の流行後の生活（マスクの着用、外出制限など）について本人へ説明するのに苦労した
14. 新型コロナウイルス感染症の影響で、通所先が休止や閉鎖となり、介護の負担が増えた
15. 同居家族に新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した場合、障がいの特性上、自宅療養中の生活（自宅内の消毒・家族との隔離など）が難しかった
16. 特にない
17. その他（上記以外で困っていることなどお書きください）

問22 障がいのある方は普段、日中の時間をどのように過ごしていますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学などに通っている

⇒ 問23に進んでください

2. 一般企業、自営業、在宅勤務などで働いている

3. 通所事業など障がい福祉に関するサービスなどを利用している

4. 趣味、スポーツ、レクリエーションなどの活動をしている

5. 地域活動、ボランティア活動などに参加している

⇒ 問30に進んでください

6. ほとんど外出せずに、家にいることが多い（在宅勤務している方は除く）

⇒ 問27に進んでください

7. 病院に入院している

8. 施設に入所している

9. その他（ ）

⇒ 問30に進んでください

問23 問22 で、「1. 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、

大学などに通っている」に○をつけた方におたずねします。

障がいのある方が通われている学校などは、次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育所
2. 幼稚園
3. 認定こども園
4. 小・中学校（通常学級）
5. 小・中学校（特別支援学級）
6. 特別支援学校
7. 高等学校
8. 高等支援学校
9. 大学
10. その他（ ）

問24 問22 で、「1. 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、

大学などに通っている」に○をつけた方におたずねします。

現在、障がいのある方が通学等をしていて、あなたが思うことは、次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 療育、教育、訓練、支援等の情報が足りない
2. 通園、通学先での介助（トイレ・食事など）が不十分
3. 通園、通学先等への送迎にかかる負担の軽減
4. 通園、通学先等での指導・支援の仕方が心配
5. 友達との関係づくりがうまくできない
6. 学校卒業後の進路が心配
7. 余暇の過ごし方に困っている
8. 長期休暇の過ごし方に困っている
9. 医療的なケアが受けられない
10. 特にない
11. その他（ ）

問25 問22 で、「1. 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、

大学などに通っている」に○をつけた方におたずねします。

障がいのある方の放課後等の過ごし方は次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 児童いきいき放課後事業
2. 放課後児童クラブ（学童保育）
3. ファミリーサポートセンター事業
4. 医療型児童発達支援
5. 福祉型児童発達支援
6. 放課後等デイサービス事業
7. 短期入所（ショートステイ）
8. 日中一時支援
9. 子育てサークルなど地域の子育て支援
10. その他（ ）
11. 特に利用していない

問26 問22 で、「1. 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、

大学などに通っている」に○をつけた方におたずねします。

障がいのある方が障がい児福祉に関するサービス等を利用して、

あなたが思うことは、次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用時間・利用量が足りない
2. 事業所が足りない・職員が足りない
3. ヘルパーや支援員の知識や技量などが不十分
4. サービス内容や利用料などに関する制度がわかりにくい
5. 利用時の手続きがわかりにくく煩雑である
6. 障がいの状態に応じたサービスが提供されない
7. 通所に時間や費用がかかるなど負担が大きい
8. サービス利用料の負担が大きい
9. その他（ ）
10. 特にない

問27 問22 で、「6. ほとんど外出せずに、家にいることが多い

(在宅勤務している方は除く)」に○をつけた方におたずねします。

障がいのある方が家にいることが多いのは、どこに原因があるとお考えですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 心身状況がよくないため
2. 他者との関わりに不安がある
3. 昼夜逆転している
4. 外出時や外出先での支援をたのめる人がいない
5. 出かけるところがない
6. 経済的な問題で外出できない
7. 原因がわからない
8. その他（ ）

問28 問22で、「6. ほとんど外出せずに、家にいることが多い

(在宅勤務している方は除く)」に○をつけた方におたずねします。

障がいのある方が家にいることが多いことで、日常生活で困っていることは次のうちどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家族に対して拒否があるため、コミュニケーションがとれない
2. 必要な医療を受けられない
3. 昼夜逆転していることで生活リズムがあわない
4. 一緒にいる時間が長く自分の時間が取れないため、気が休まらない
5. 家族への支配的な言動
6. 家庭内暴力、器物破損
7. 自傷行為や食の異常行動
8. 本人が社会参加できないことに不安がある
9. 経済的な問題
10. サービスの時間が足りない
11. 家族などで相談できる相手がいない（どこに相談していいかわからない）
12. 特にない
13. その他（ ）

問29 問22で、「6. ほとんど外出せずに、家にいることが多い

(在宅勤務している方は除く)」に○をつけた方におたずねします。

ご家族として、どんな支援や取り組みがあればいいと思いますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 外出時障がいを理解してくれる人の同伴
2. 話し相手になる人の訪問
3. 気軽に連絡ができる電話窓口や連絡できるSNSなど
4. 自由で安心して参加できる居場所
5. 困った時や情報が欲しい時に相談にのってくれる相談専門窓口や訪問
6. 通院できない時の往診
7. 経済的な支援
8. その他（ ）
9. 特にない

4 障がい者施策全般のことなどについておたずねします。

問31 あなたは、家族の立場からみて、障がいのある方が、障がいを理由に不快（差別）や不便さを感じていると思った時はどんな時ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

また、○をつけた次の欄に、具体的な事例を書いてください。

1. 教育を受ける時

(具体例：

)

2. 働こうとした時、働いている時

(具体例：

)

3. 趣味・スポーツなどの活動をする時

(具体例：

)

4. 公共交通機関を利用する時

(具体例：

)

5. 公共施設（建物・道路・公園など）などを利用する時

(具体例：

)

6. 福祉サービスを利用する時

(具体例：

)

7. 医療機関を利用する時

(具体例：

)

8. 必要な情報を探したり情報提供を受ける時

(具体例：

)

9. 住宅の購入または住宅に入居する時

(具体例：

)

10. 政治活動や選挙に参加する時

(具体例：

)

11. 家族や周囲の人の理解を得ようとする時

(具体例：

)

12. 買物や外食などをする時

(具体例：

)

13. その他

(具体例：

)

14. 特にない

問32 あなたは、障がい^{しょうがい}を理由^{りゆう}とした差別^{さべつ}や偏見^{へんけん}をなくすためには、
どのようなことが必要^{ひつよう}だと思いますか。

あてはまる番号すべてに^{ばんごう}○^{まる}をつけてください。

1. 学校^{がっこう}での教育^{きょういく}
2. 事業者^{じぎょうしゃ}（企業^{きぎょう}や店舗^{てんぽ}など）での研修^{けんしゅう}
3. 地域^{ちいき}でのイベントなどの開催^{かいさい}
4. テレビやラジオでの啓発^{けいはつ}
5. SNS（Twitter、Facebook、Instagramなど）を利用^{りよう}した啓発^{けいはつ}
6. その他^た（ ）

問33 大阪市^{おおさかし}には障がい^{しょうがい}を理由^{りゆう}とする差別^{さべつ}に関する相談窓口^{かん そうだんまどぐち}があります。
あなたが、その相談窓口^{そうだんまどぐち}として知^しっているものはどれですか。

あてはまる番号すべてに^{ばんごう}○^{まる}をつけてください。

1. 区役所^{くやくしょ}
2. 区障がい者基幹相談支援センター^{くしょう しゃきかんそうだんしえん}（各区^{かくく}1か所^{しよ}）
3. 地域活動支援センター^{ちいきかつどうしえん}（生活支援型^{せいかつしえんがた}）（市内^{しよ}9か所）
4. 大阪市人権啓発・相談センター^{おおさかしじんけんけいはつ そうだん}
5. すべて知らない^し

問 34 あなたは、^{さいがいじ}災害時などに^{そな}備え、^ひ日ごろからどのような^{じゅんび}準備をしていますか。

あてはまる番号すべてに^{ばんごう}○をつけてください。

1. ^{みず}水・^{しょくりょう}食料・^{にちようひん}日用品・^{いやくひん}医薬品などの^{じゅんび}準備ができている
2. ^{ひなんしょ}避難所までの^{けいろ}経路や^{ほうほう}方法の^{かくにん}確認ができている
3. ^{かぞく}家族や^{しんぞく}親族などに^{てだす}手助けが^{もと}求められるようにしている
4. ^{とく}特にしていない
- (^{ぐたいてき}具体的な理由：)
5. その他 ()

問 35 あなたが^{じしん}地震や^{たいふう}台風などの^{さいがいじ}災害時に^{ひつよう}必要と思うことは次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに^{ばんごう}○をつけてください。

1. ^{しょう}障がいに応じた^{おう}情報^{じょうほうていきょう}提供
2. ^{あんぜん}安全な場所(避難所など)への^{ゆうどう}誘導や^{かいじょ}介助などの^{しえん}支援
3. ^{ひなんじょ}避難所の^{たても}建物・^{せつび}設備などの^{せいび}整備
4. ^{じんこうこきゅうき}人工呼吸器など^{いりようき}医療機器の^{でんげん}電源の^{かくほ}確保
5. ^{ひなんじょ}避難所での^{かいご}介護や^{コミュニケーション}コミュニケーションなどの^{じんてきしえん}人的支援
6. ^{しょう}障がいのある人を^{ひと}対象とした^{たいしょう}避難所の^{ひなんじょ}確保^{かくほ}
7. ^{いりようてき}医療的ケアの^{じゅうじつ}充実と^{いやくひん}医薬品などの^{ていきょう}提供
8. ^{さいがいじ}災害時における^{ひなんしえん}避難支援プラン(個別計画)(※)の^{さくせい}作成
9. その他 ()
10. ^{とく}特にない

※ ^{ひなんしえん}避難支援プラン(個別計画)…^{こべつけいかく}災害時における^{さいがいじ}具体的な^{ぐたいてき}支援内容や^{しえんしや}支援者、^{ひなんほうほう}避難方法^{きさい}を記載したものをいいます。

問36 あなたが災害時などの緊急時に協力を求めることができる相手はどなたですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人・職場の同僚
2. 近所の人・地域の人
3. 区役所・保健福祉センターの職員
4. 保育所・幼稚園・学校の職員
5. 医療機関の職員
6. 福祉サービス事業所などの職員
7. 障がい者基幹相談支援センター・相談支援事業所・相談機関の職員
8. 障がい者団体や家族会の人
9. 見守り相談室の職員
10. その他（ ）
11. 協力を求めることができる相手がいない

問37 成年後見制度などの権利擁護支援のうち、あなたが知っている制度は、次のうちどれですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 成年後見制度（後見・保佐・補助）
2. 成年後見制度（任意後見）
3. あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）
4. 市民後見人
5. 大阪市成年後見支援センター
6. 成年後見制度利用支援事業
7. 知っている制度等はない

問38 あなたは、障がいのある方の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用したいと思う
2. 制度のことがよく分からないから、利用したいと思わない
3. 費用が心配だから、利用したいと思わない（※）
4. 家族の支援があるから、利用したいと思わない
5. 分からない
6. 既に利用している
7. その他（ ）

※成年後見制度利用支援事業・・・大阪市では、親族等による法定後見の申立てができない方について、大阪市長が申立てを行い、その費用の一部又は全部を負担します。また、後見人等が選任された後の報酬の支払いが困難な方に対して助成を行っています。

問39 あなたが障がい者施策全般について望むことは何ですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ホームヘルプサービスの充実
2. 日中活動の場の充実
3. ショートステイサービスの充実
4. グループホームの充実
5. 相談支援体制の充実
6. 障がい福祉サービスの利用者負担の軽減
7. 地域移行支援（※1）の充実
8. 就労支援の充実
9. 所得の保障
10. 交通バリアフリーなどの福祉のまちづくりに基づく環境整備
11. 暮らしやすい住宅の整備
12. 保健・医療・リハビリテーションの充実
13. 障がいの特性に配慮した情報提供の充実
14. 外出時の支援の充実
15. 趣味・余暇活動の場の確保
16. 高齢障がい者支援の充実
17. 夜間・休日・緊急時の連絡・相談支援体制の確保
18. 地域での見守り体制の充実
19. 障がいに対する理解を深めるための啓発・広報の充実
20. 成年後見制度などの権利擁護支援の充実
21. 災害時などの緊急時の防災対策
22. 差別解消の推進
23. 子育て等の支援の充実
24. 認定こども園・幼稚園・保育所等への入所・入園や入学等の受入れ体制の整備
25. 親なき後の支援の充実
26. ヤングケアラー（※2）への支援の充実
27. その他（ ）
28. 特にない

※1 地域移行支援・・・施設や病院を出て、自分の住みたいところで暮らすための支援です。

※2 ヤングケアラー・・・法令上の定義はありませんが、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどもとされています。

とい しょう しゃし さくぜんぱん いけん じゅう か
問40 障がい者施策全般について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。

ほんにんようちょうさひょう へんそうようふうとう い
「本人用調査票」もいっしょに返送用封筒に入れて、

きって は れいわ ねん がつ にち か い
切手を貼らずに令和4年12月20日（火）までにポストにお入れください。

おおさかしぎょうせい こた かた ちょうさひょう い
大阪市行政オンラインで答えていただいた方は、調査票をポストに入れないでください。